

2026年3月期 第3四半期 決算説明会

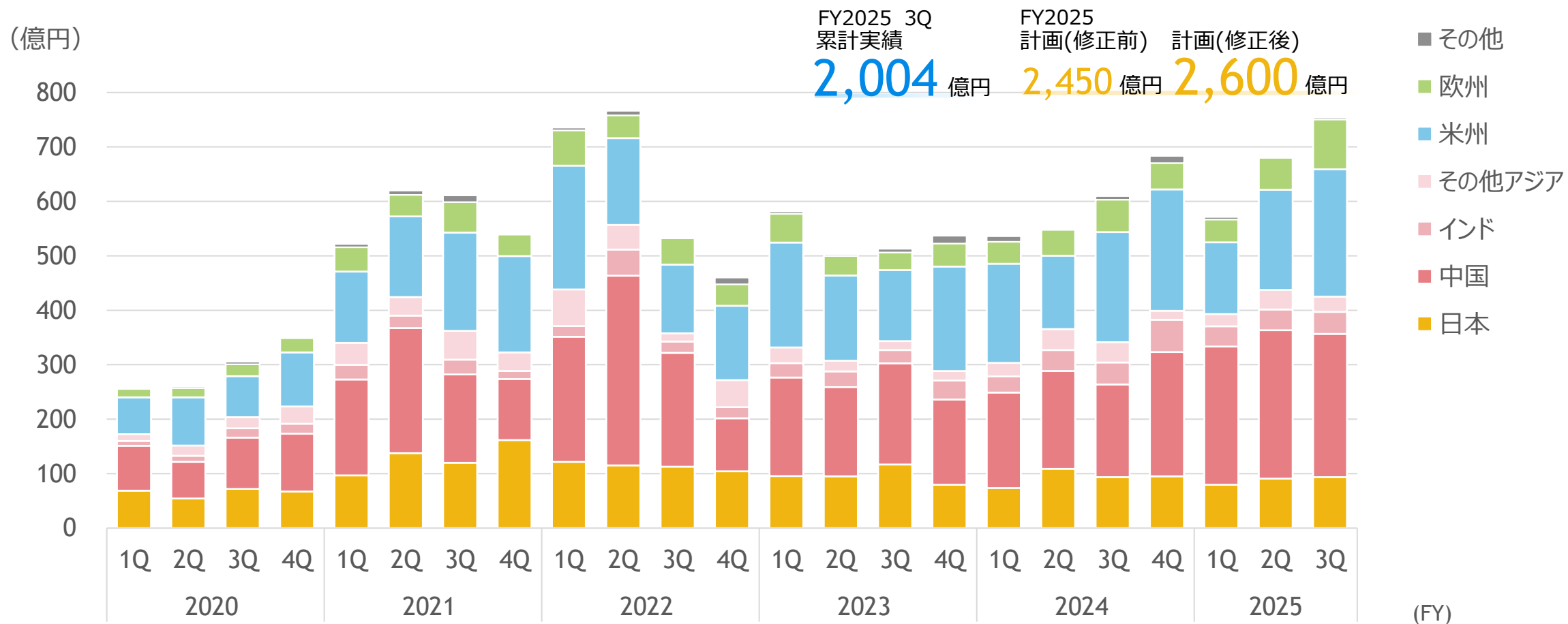
株式会社 牧野フライス製作所
2026年1月30日

受注

Orders

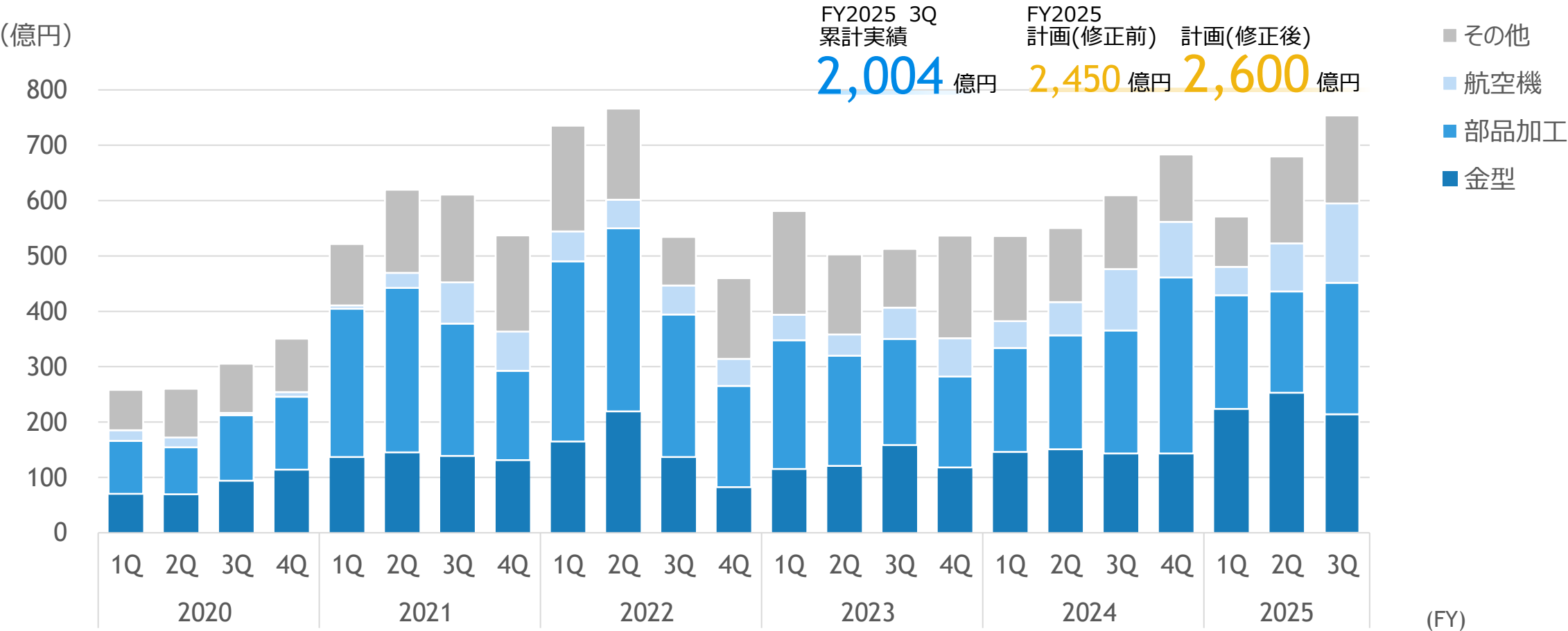


中国・アメリカ向けを中心に前年同期比23.6%増加





金型向け、航空機向けを中心に前年同期比で増加





第3四半期のシェアは、6.6%

牧野フライス

(億円)

120

100

80

60

40

20

0

2020

2021

2022

2023

2024

2025

(年)

日工会

(億円)

2,400

2,000

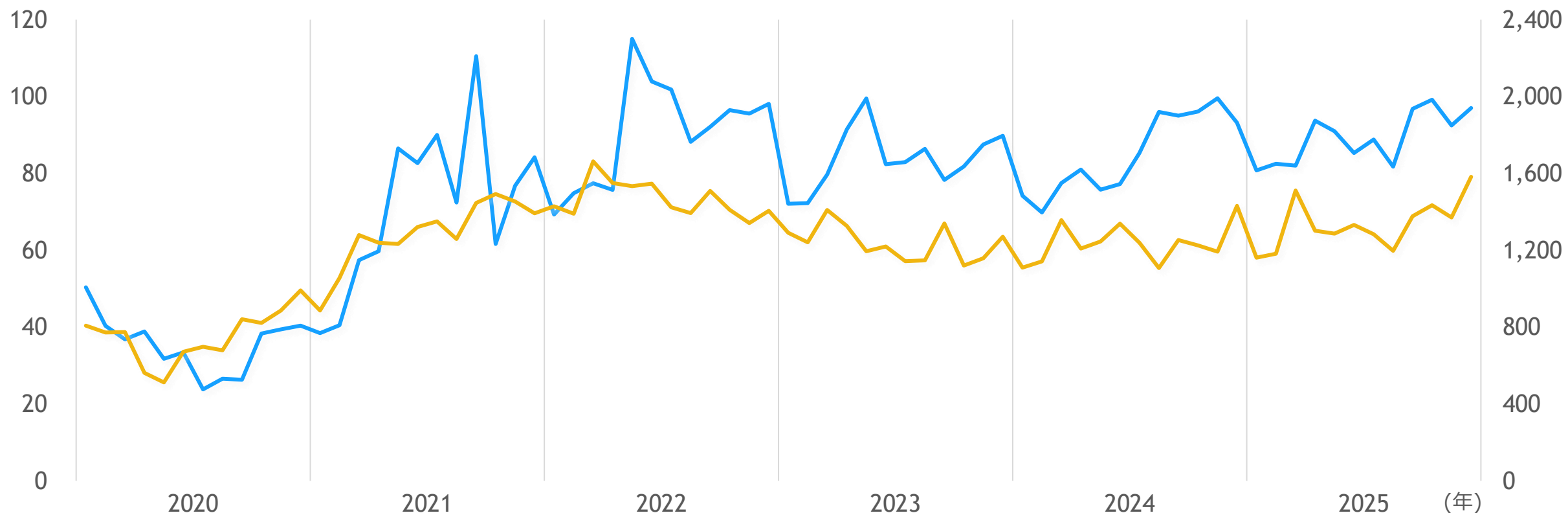
1,600

1,200

800

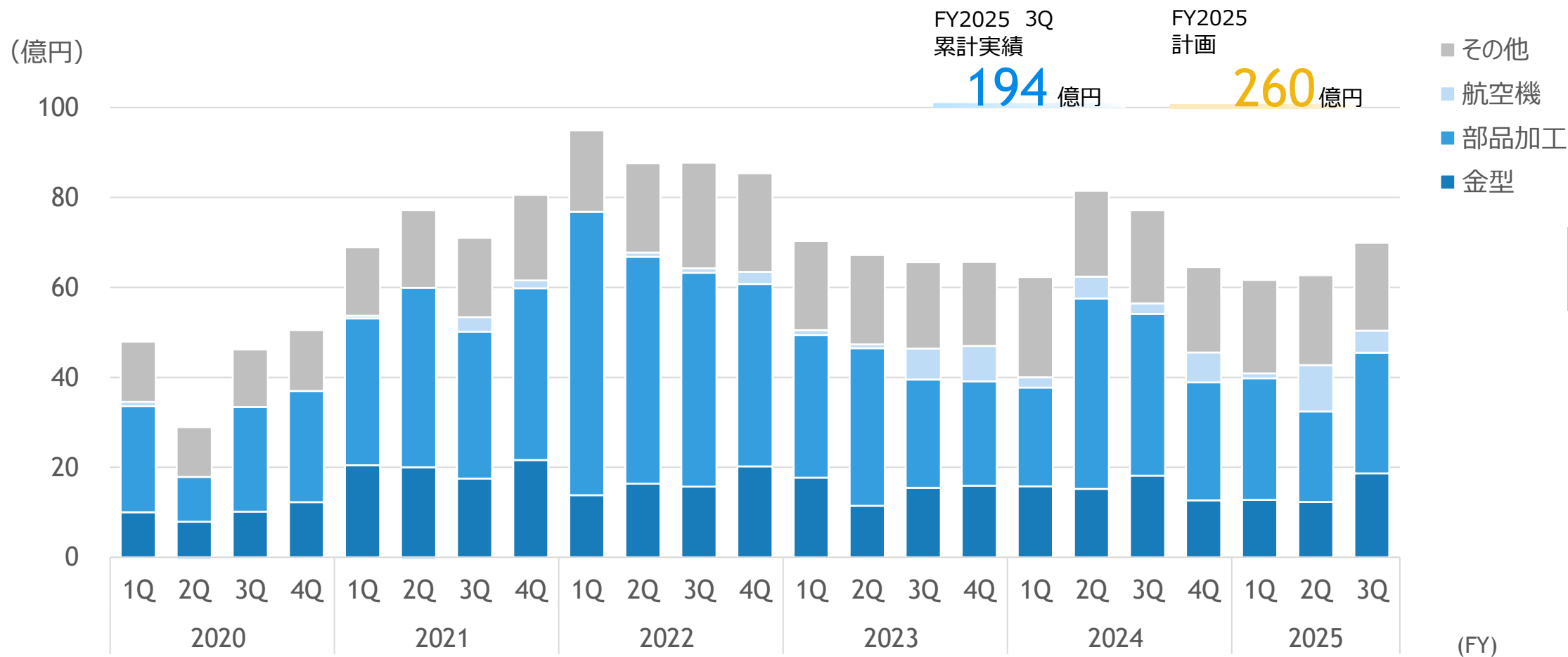
400

0





部品加工向けを中心に前年同期比9.4%減少



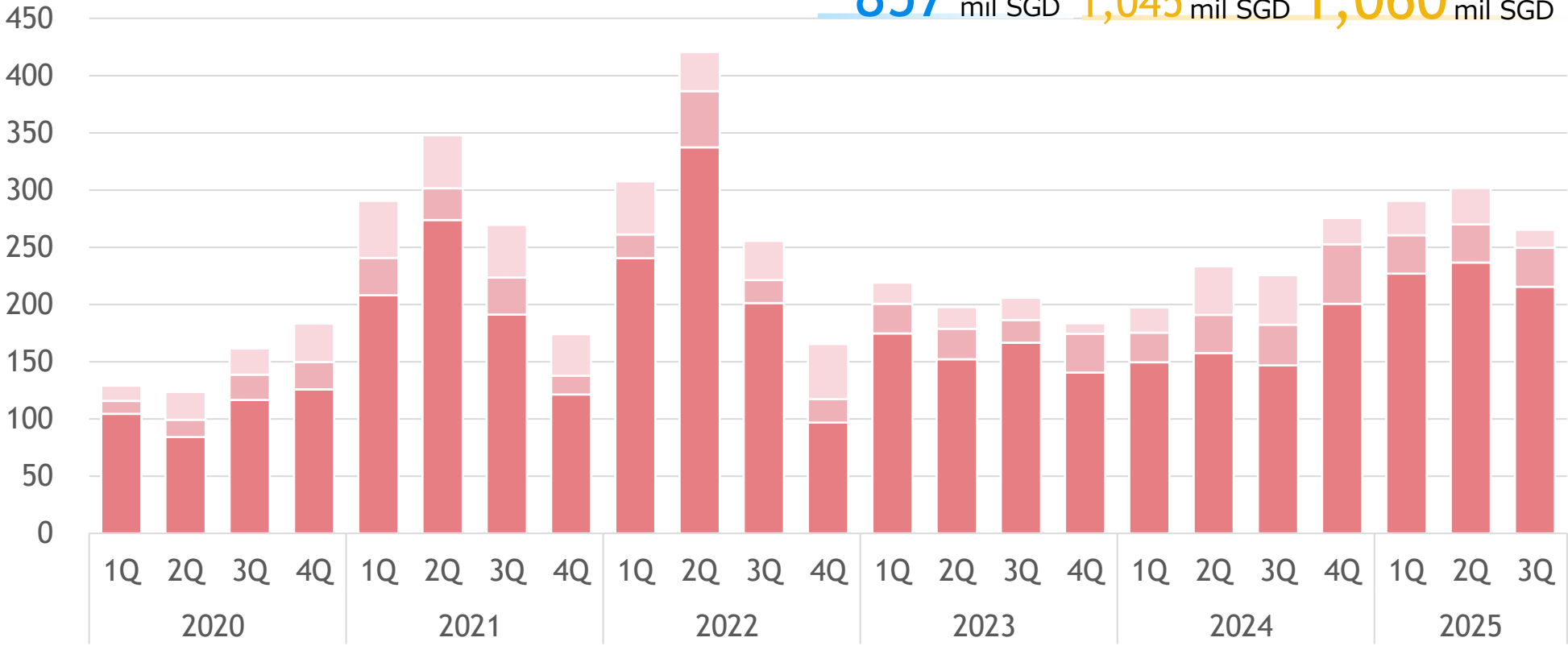


中国において前年同期比で46.3%増加

(百万シンガポールドル)

FY2025 3Q
実績 **857** mil SGD
FY2025
計画(修正前) **1,045** mil SGD
計画(修正後) **1,060** mil SGD

- その他の地域
- インド
- 中国





金型向けが前年同期比62.3%増加

(百万シンガポールドル)

FY2025 3Q
実績

857

mil SGD

FY2025
計画(修正前)

1,045

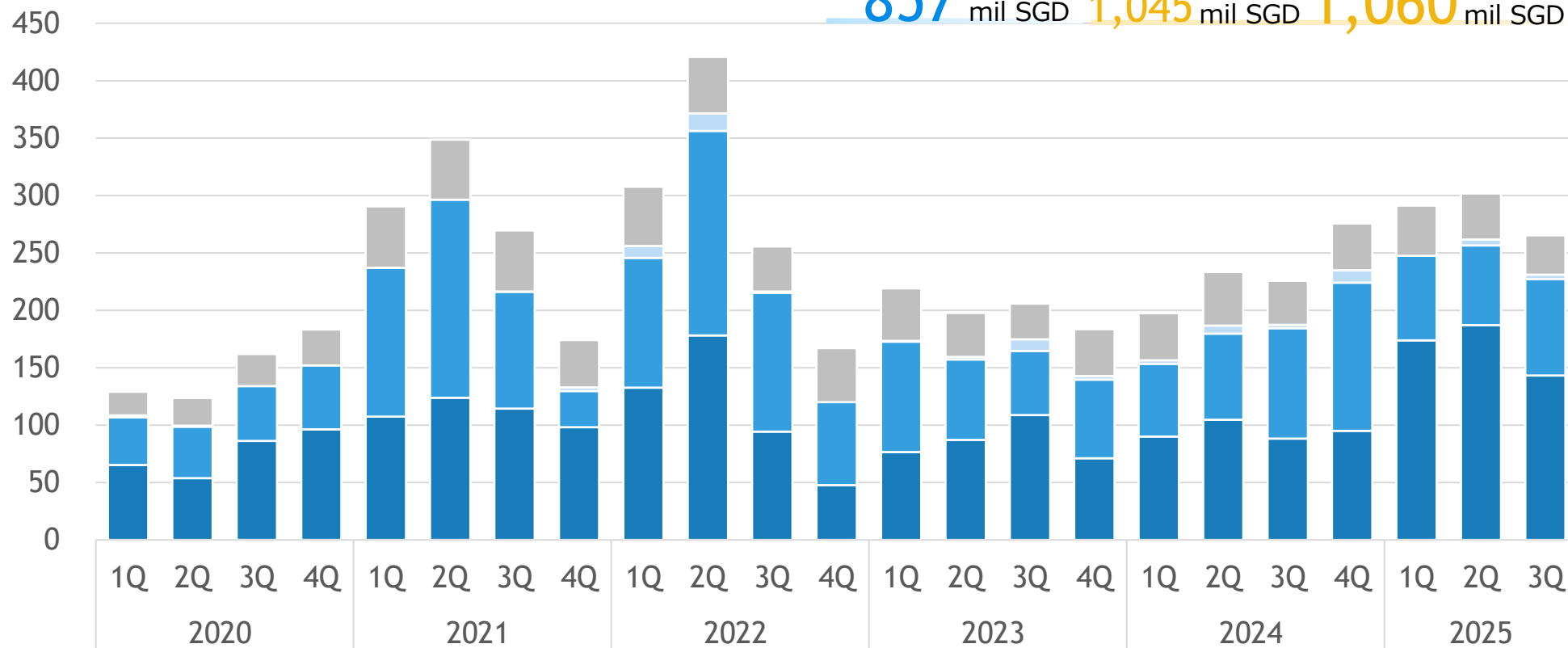
mil SGD

計画(修正後)

1,060

mil SGD

- その他
- 航空機
- 部品加工
- 金型

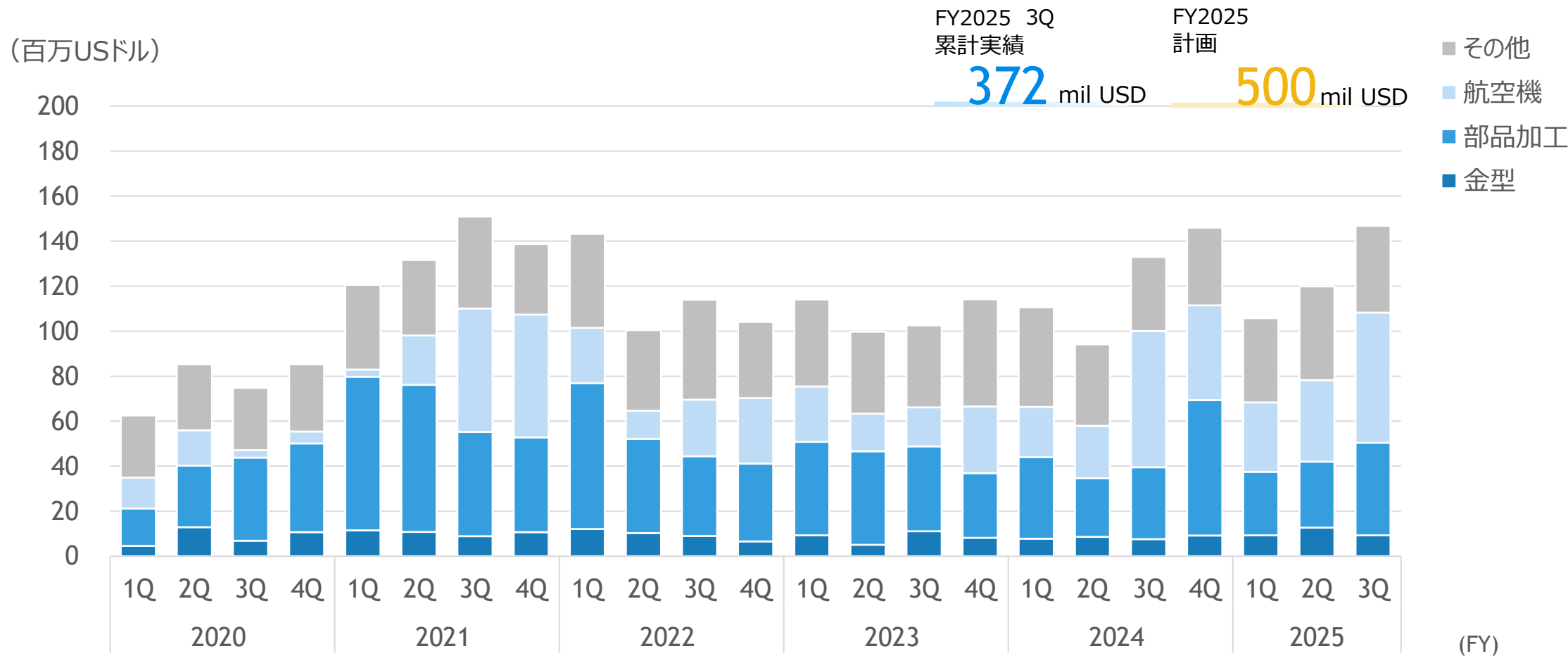


(FY)

アジア

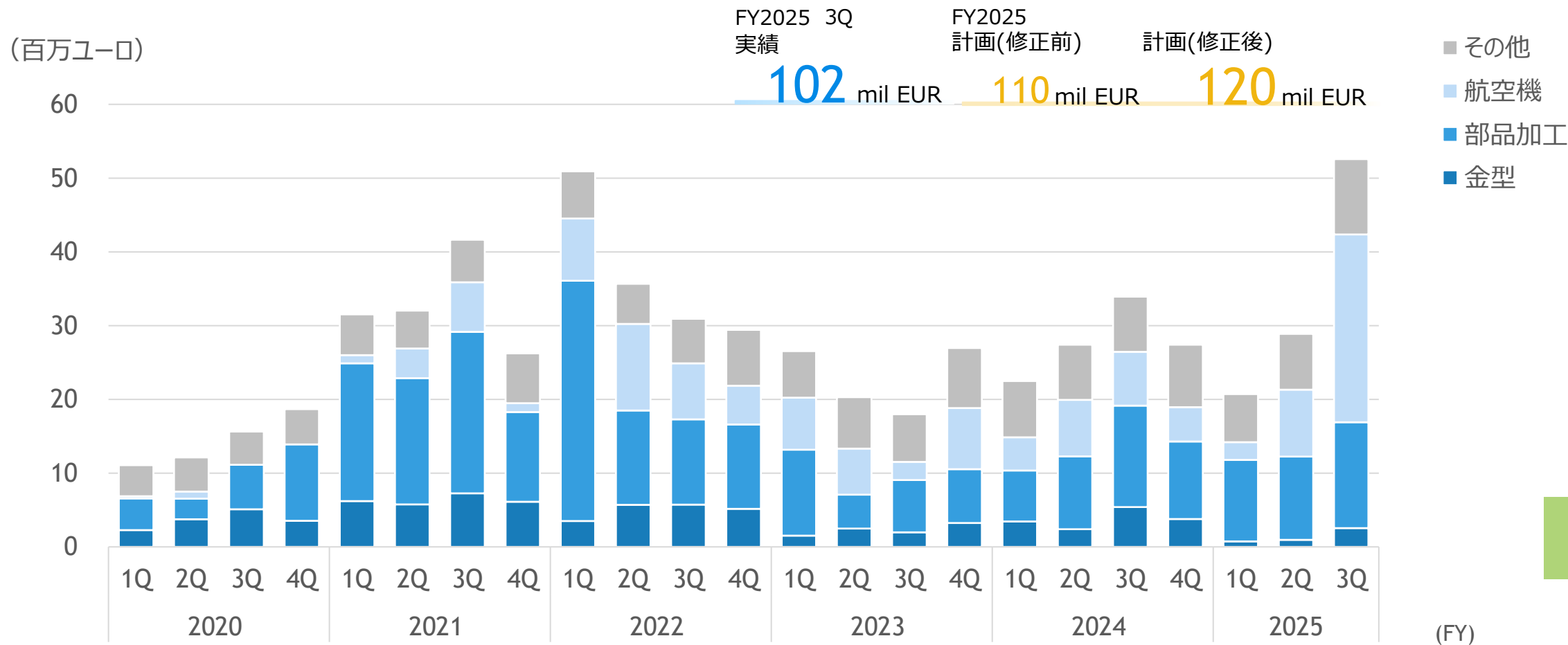


航空宇宙関連が堅調に推移し、前年同期比10.4%増加





航空宇宙関連が大幅に増加し、前年同期比55.8%増加



2025年度は大型機・5軸機を含む4機種をリリース

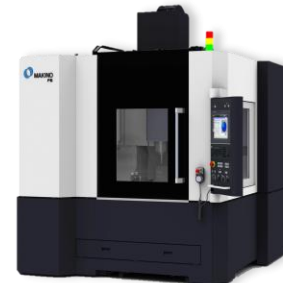


牧野フライス製

立形マシニングセンタ
V800

大型加工機 × 金型

ロングセラー機 Vシリーズの次世代機
近年大型化が進む自動車部品などの金型を
高能率に加工

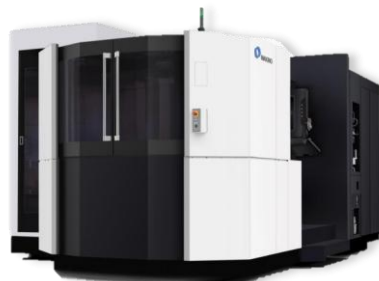


Makino Asia製

立形マシニングセンタ
f6

Makino Asia製 × 金型

アジアだけでなく、グローバルで実績のある
金型向けfシリーズの最新モデル



牧野フライス製

5軸制御横形マシニングセンタ
a630iT

5軸加工機 × 部品加工

最大1,000kgのワークに対応する5軸テーブルで
航空宇宙・エネルギー関連等における
難削材や複雑形状の大型・重量物加工に対応



Makino Asia製

横形マシニングセンタ
JH5

Makino Asia製 × 部品加工
(アジア地域)

アジア市場の部品加工ユーザーのニーズに対応し
開発した横形マシニングセンタ



機械加工の価値を更に引き上げる自動化・知能化ソフトウェアの拡充

Factory Automation

自動化の質を向上させる
ソフトウェア
「MAS-NX」など



将来の生産リスクを
予測し、必要な
対応を事前に提示

iKnowledge Technology

機械単体の性能を向上させる
ソフトウェア
「GI.6制御」など



内蔵センサで
機械の状態を把握
最適の加工環境を整備

Manufacturing Digitalization

カイゼンの為のデータ蓄積する
ソフトウェア
「MAS-3i」など



加工ラインのデータ収集・
見える化・分析支援を
ワンパッケージで提供

お客様の生産性向上

顧客管理システムをグローバルで連携し、緻密且つ、迅速な対応を強化



- ✓ 東南アジア・東欧・中南米などに**グローバル展開を進めるお客様**へのフォローを強化
- ✓ 商談開始から、納入後のサポートまで**情報を連携**しお客様に合った対応を実現



顧客満足度の向上



自社開発の専用加工機導入による大物鋳物部品加工の能力増強・省人化



国／工場	対象品目	投資内容	
日本 / 富士勝山	大型5軸MC	専用加工機導入 自動化・省人化	老朽設備更新
中国 / 昆山	大型EDM		大物鋳物加工の 内製化
中国 / 武漢	MC		

投資効果

商談が増加傾向にある大型MC／Makino Asia製MC・EDMの生産性向上

- ・ **リードタイム短縮**
自社製品向けの大物鋳物部品加工に最適化した独自の専用加工機
- ・ **加工コスト削減**
自動化・省人化機能による機械の有効稼働時間・無人運転時間の増加
- ・ **品質ロスの削減**
内製化による加工品の品質改善で修正・調整作業を削減



自社開発の専用機による高精度加工・自動化



当社製品・サービスを利用されるお客様の用途別に、次の通り分類しております。

金 型 : 主にプラスチックやダイキャスト製品などを成型する金型の加工向け

部品加工 : 自動車部品をはじめ、製品・機器に使用される部品の加工向け
(航空機以外)

航 空 機 : 航空機及び宇宙関連の部品加工向け



財務

Finances



前年同期比で増収増益

(百万円)	25年3月期 実績 (24.4.1～24.12.31)	26年3月期 実績 (25.4.1～25.12.31)	増減 (増減率)
売上高	168,794	190,132	21,337 (12.6%)
営業利益 (営業利益率)	13,232 (7.8%)	17,676 (9.3%)	4,443 (33.6%)
経常利益 (経常利益率)	14,487 (8.6%)	19,780 (10.4%)	5,292 (36.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (純利益率)	10,532 (6.2%)	14,029 (7.4%)	3,497 (33.2%)
為替レート			
USD	152.57	148.74	
EUR	164.83	171.83	
SGD	114.25	114.97	

セグメント（報告セグメント別）



(百万円)		I 日本	II アジア	III アメリカ	IV ヨーロッパ	消去	連結
【当期】 25年12月	売上高 (外貨)	99,214	101,148 (857,267)	52,802 (354,996)	12,069 (70,240)	△ 75,101	190,132
	営業利益/損失	8,447	6,936	2,123	△ 610	780	17,676
【前期】 24年12月	売上高 (外貨)	95,592	77,427 (658,607)	51,926 (340,343)	12,989 (78,805)	△ 69,140	168,794
	営業利益/損失	9,015	3,339	2,233	△ 146	△ 1,210	13,232
【前々期】 23年12月	売上高 (外貨)	100,822	72,204 (653,347)	45,850 (319,984)	15,364 (98,942)	△ 71,249	162,992
	営業利益/損失	7,227	3,318	1,998	△ 78	△ 307	12,156



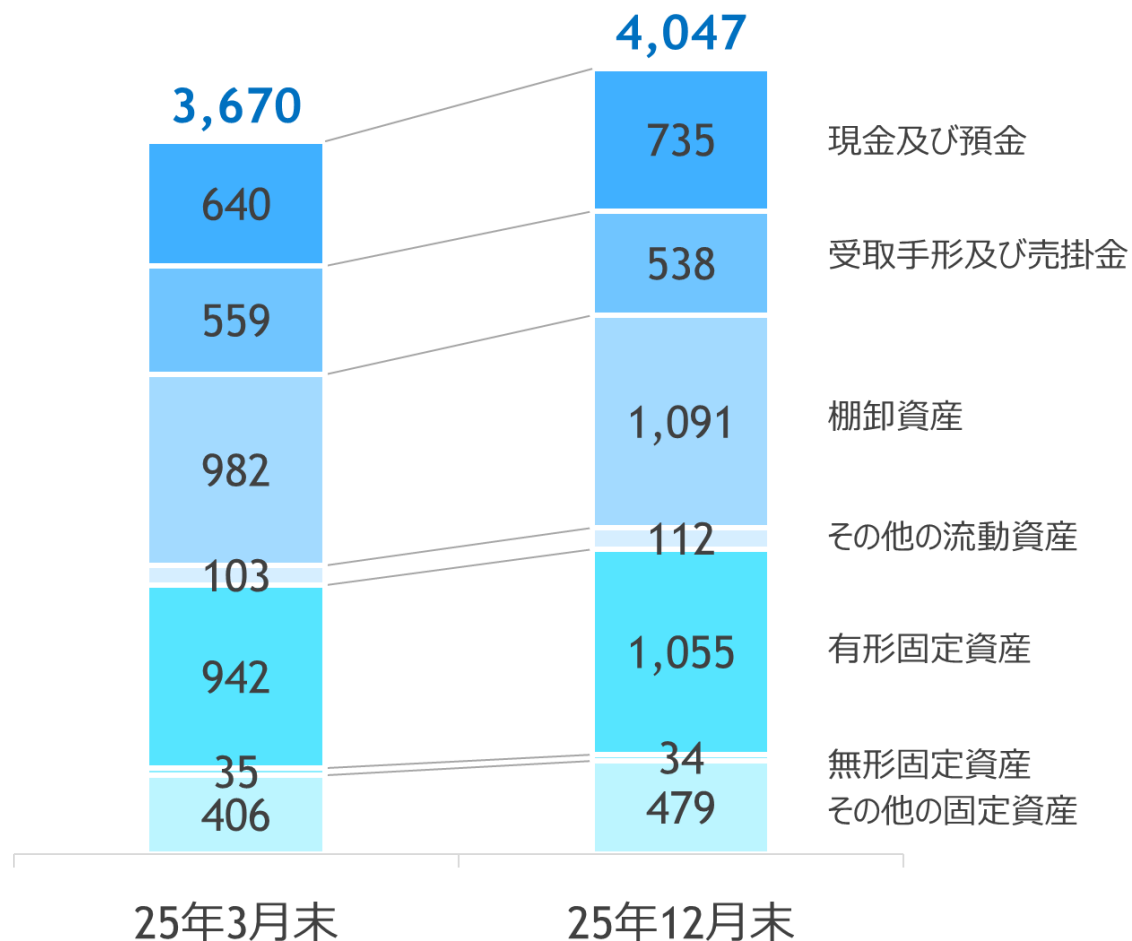
中国が牽引し、アジア向けの売上が前年同期比30%増

(百万円)		日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	連結
【当期】 25年12月	売上高	23,762	97,688	52,269	13,415	2,997	190,132
	比率	12.4%	51.3%	27.4%	7.0%	1.5%	
【前期】 24年12月	売上高	25,373	75,578	51,579	13,293	2,969	168,794
	比率	15.0%	44.7%	30.5%	7.8%	1.7%	
【前々期】 23年12月	売上高	29,420	69,873	45,386	16,246	2,064	162,992
	比率	18.0%	42.8%	27.8%	9.9%	1.2%	



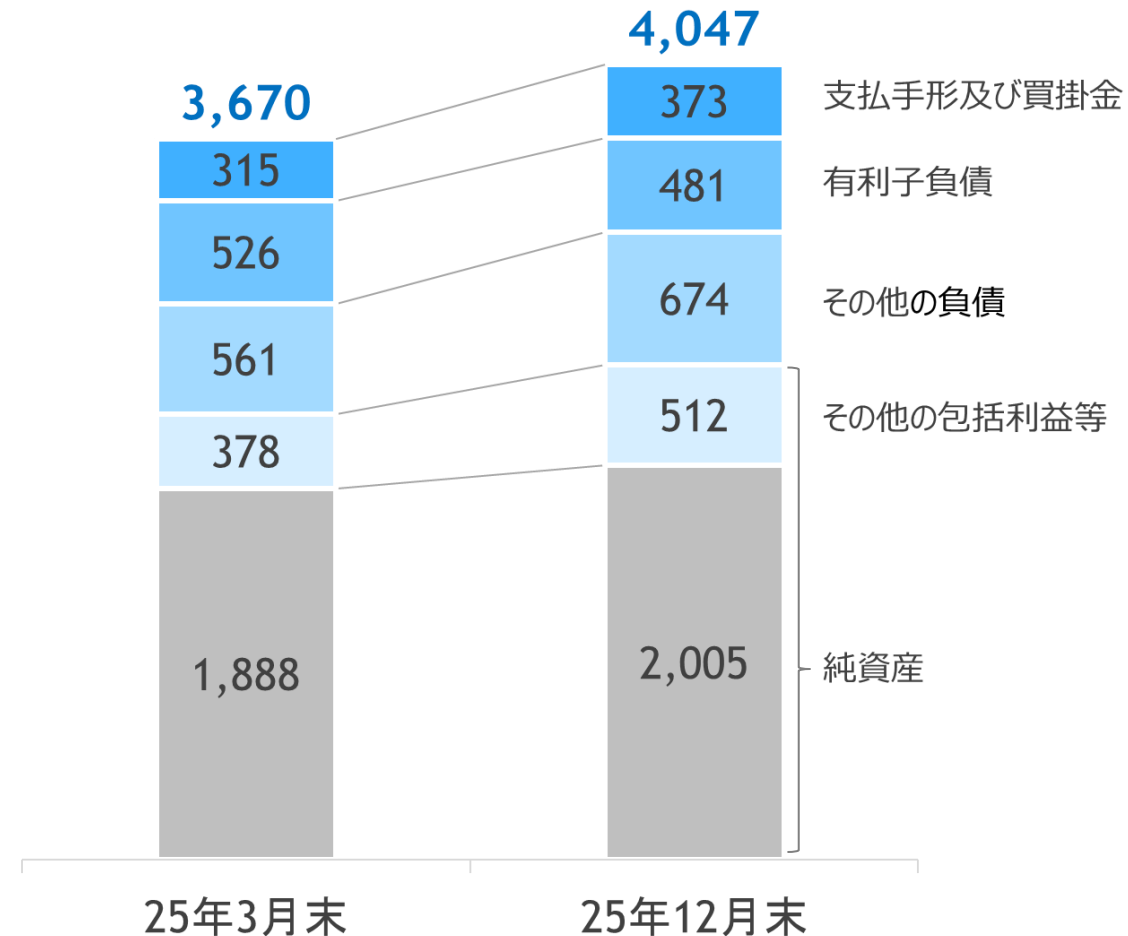
資産の部

(億円)



負債・純資産の部

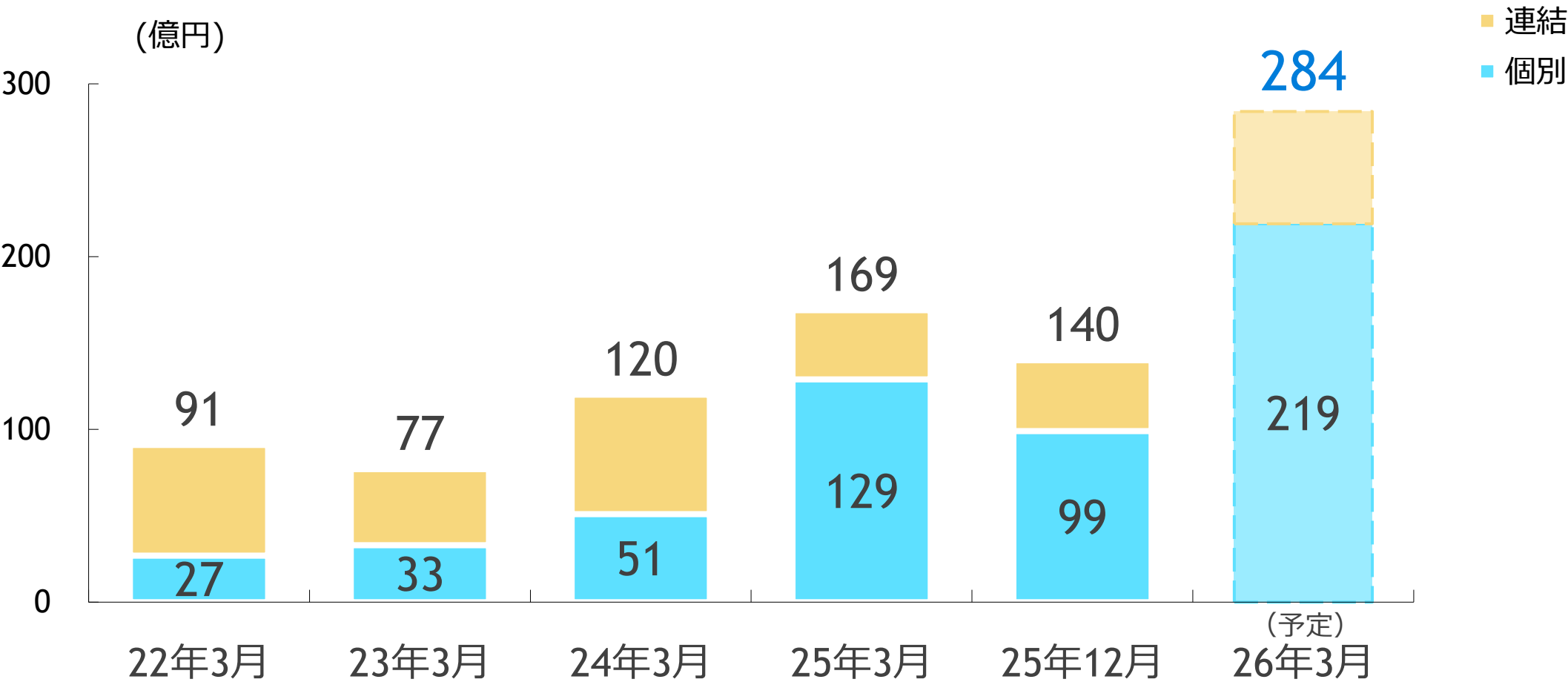
(億円)

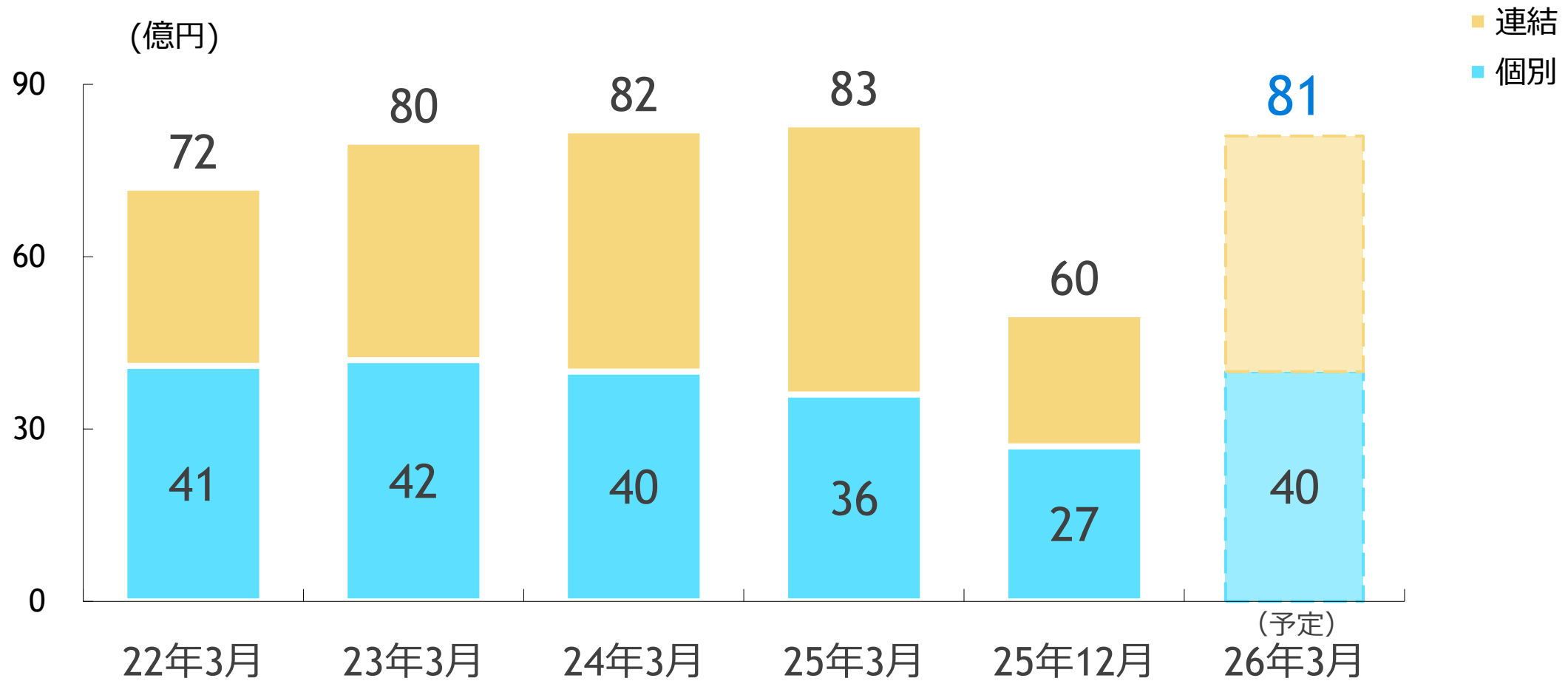


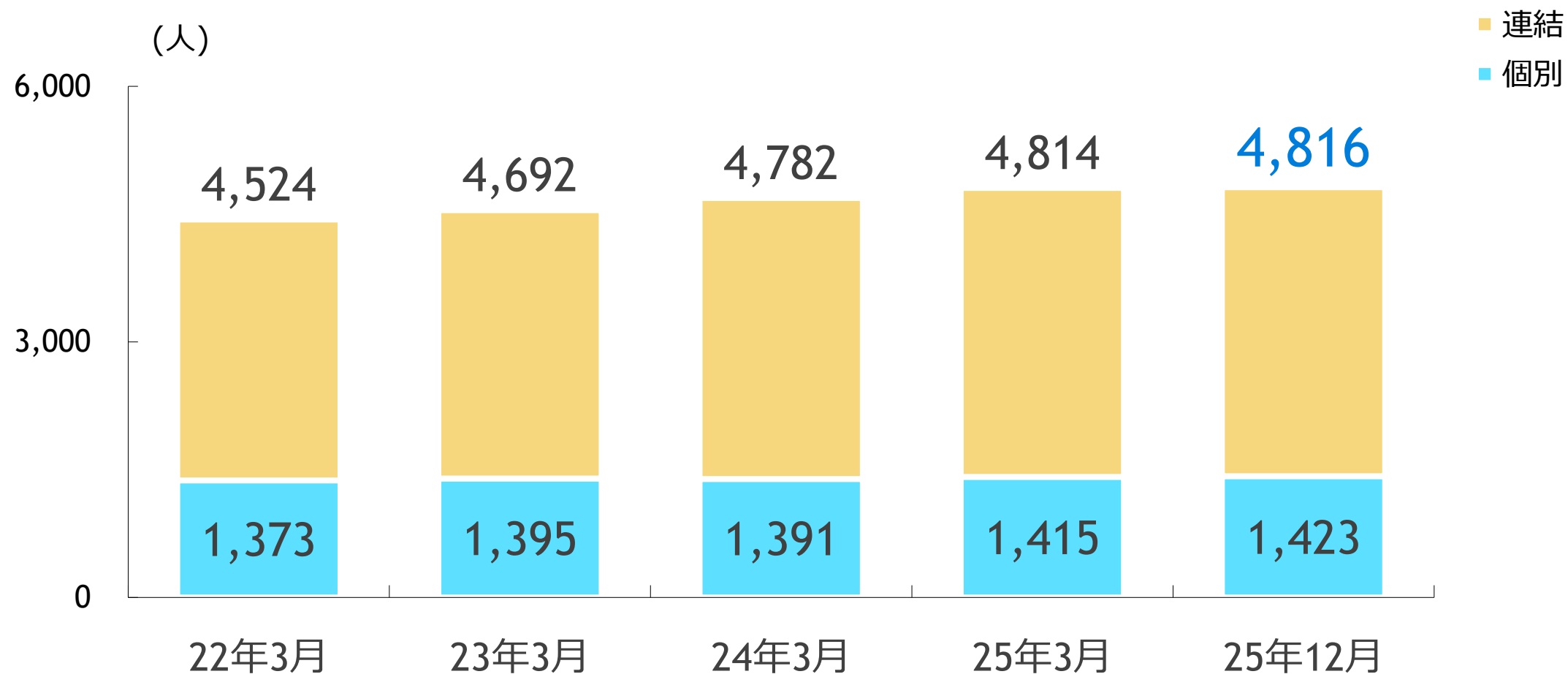


設備投資により支出増も、営業活動によるキャッシュ・フロー増加により残高維持

	(百万円)	
	25年3月期 (24.4.1～24.12.31)	26年3月期 (25.4.1～25.12.31)
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	13,407	26,900
税金等調整前当期純利益	15,057	19,728
減価償却費	6,164	6,029
運転資本の増減	△ 2,542	2,866
その他	△ 5,272	△ 1,723
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,374	△ 11,376
有形固定資産の取得による支出	△ 8,499	△ 12,347
有形固定資産の売却による収入	789	536
投資有価証券の売却による収入	389	1,275
その他	△ 1,053	△ 840
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,730	△ 8,291
有利子負債の増減	878	△ 5,063
自己株式の取得による支出	△ 2,004	△ 5
配当金の支払額	△ 3,760	△ 2,336
その他	△ 843	△ 886
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,336	2,253
現金及び現金同等物の期首残高	72,578	64,067
現金及び現金同等物の期末残高	73,217	73,552









経費抑制の効果及び為替レートが円安に推移したことにより、予想を上方修正

	26年3月期 予想 修正前 (百万円) 通期 (25.4.1～26.3.31)	26年3月期 予想 修正後 通期 (25.4.1～26.3.31)	増減 (増減率)
売上高	240,000	252,000	12,000 (5.0%)
営業利益 (営業利益率)	21,500 (9.0%)	23,800 (9.4%)	2,300 (10.7%)
経常利益 (経常利益率)	22,000 (9.2%)	25,600 (10.2%)	3,600 (16.4%)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (純利益率)	18,000 (7.5%)	19,400 (7.7%)	1,400 (7.8%)



Quality First

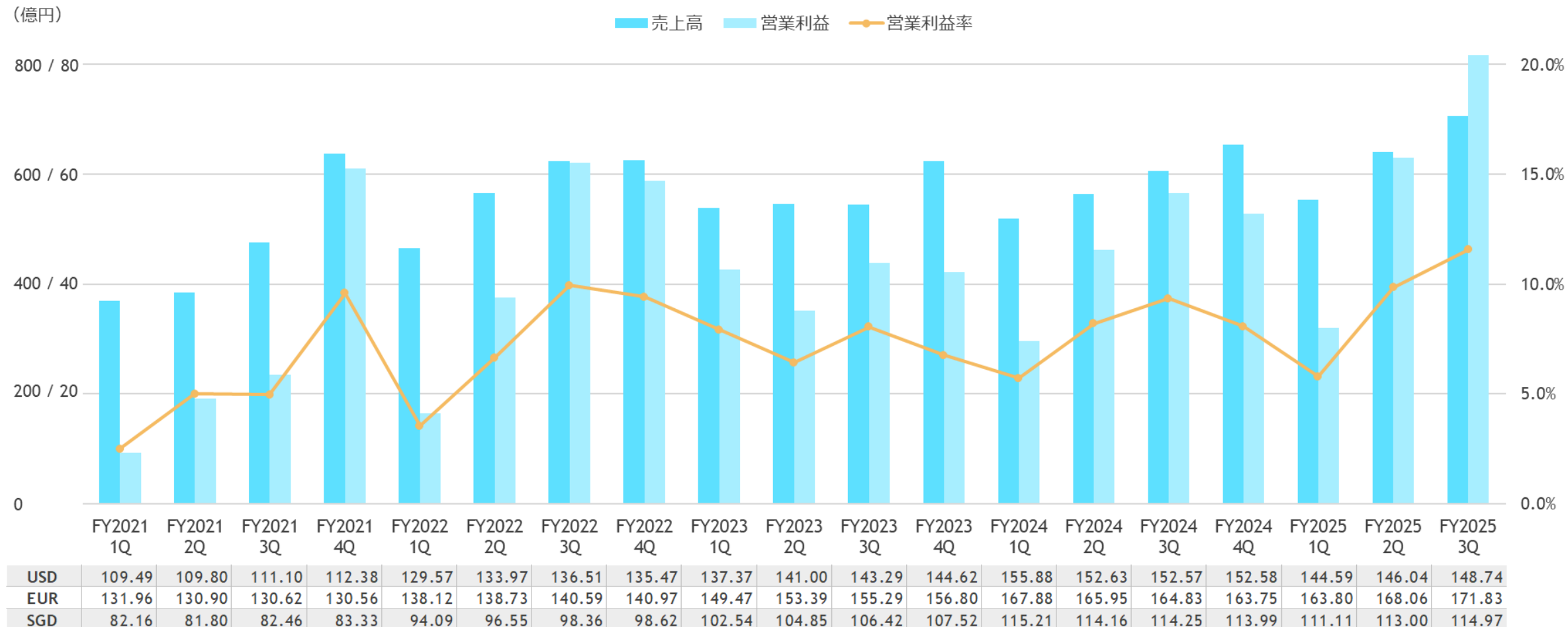
信頼こそ企業の存立基盤です。
マキノは、使う人、売る人、作る人、
みんなが信頼しあえることを願い、
すべての製品とサービス、自らの組織と社員のあり方において、
『クオリティ・ファースト』を追求します。



ご参考資料

Reference Materials

売上高と営業利益

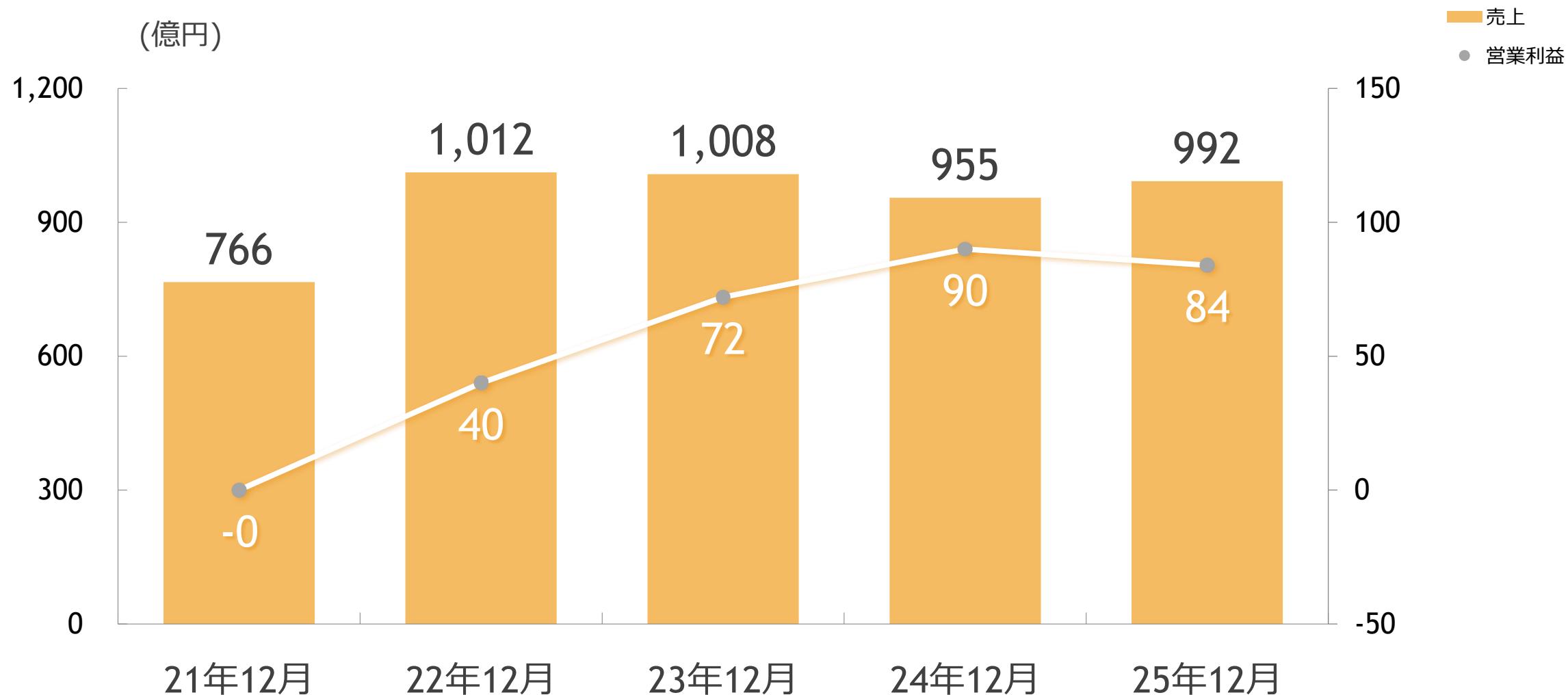


為替レートの変動による売上高・営業利益の増減額（対 前年同期）

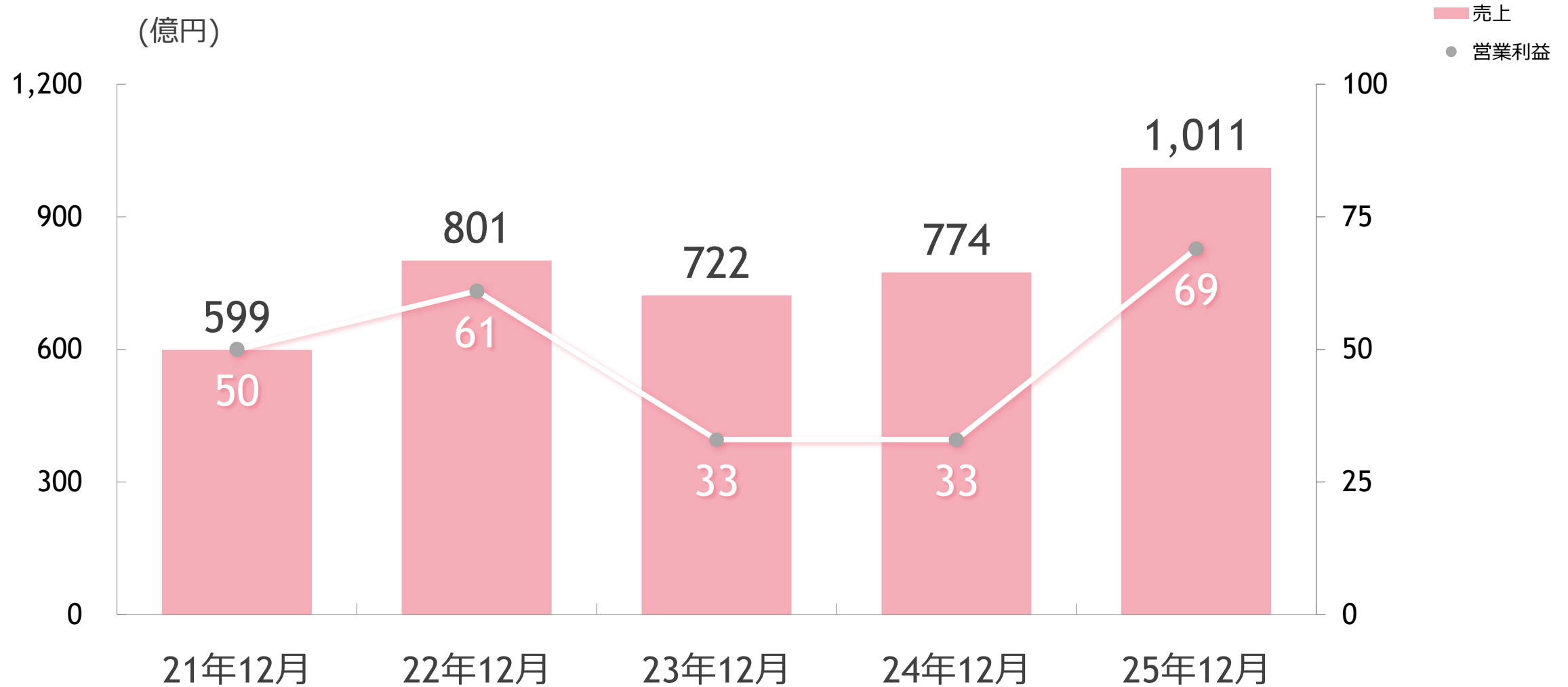


	26年3月期 (25.4.1～25.12.31)		(百万円)	
	外部売上高	為替レート (前年同期)	売上高の増減	営業利益の 増減
USD	USD 353M	148.74 (152.57)	△ 1,352	△ 498
EUR	EUR 70M	171.83 (164.83)	489	170
SGD	SGD 806M	114.97 (114.25)	580	41
合計			△ 283	△ 287

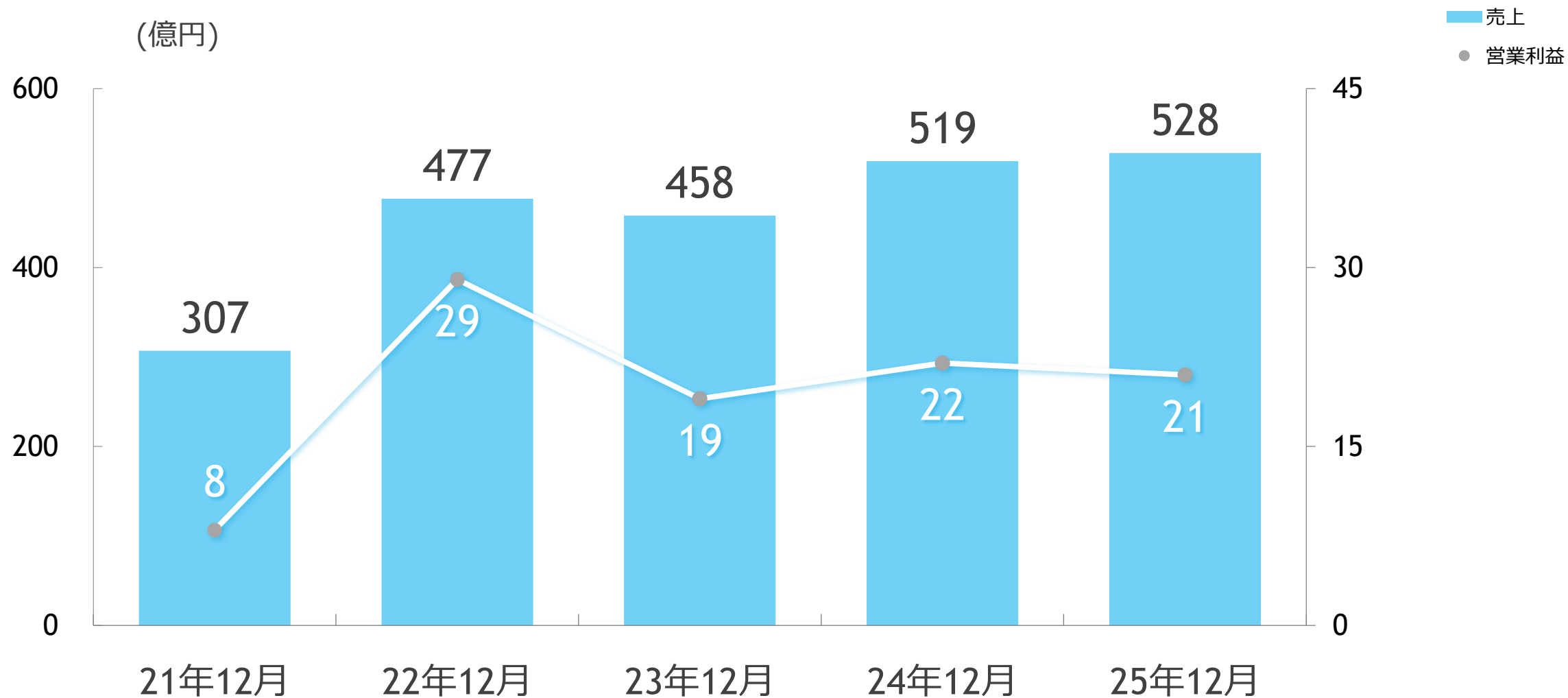
売上高と営業利益（報告セグメント別）-セグメントⅠ-



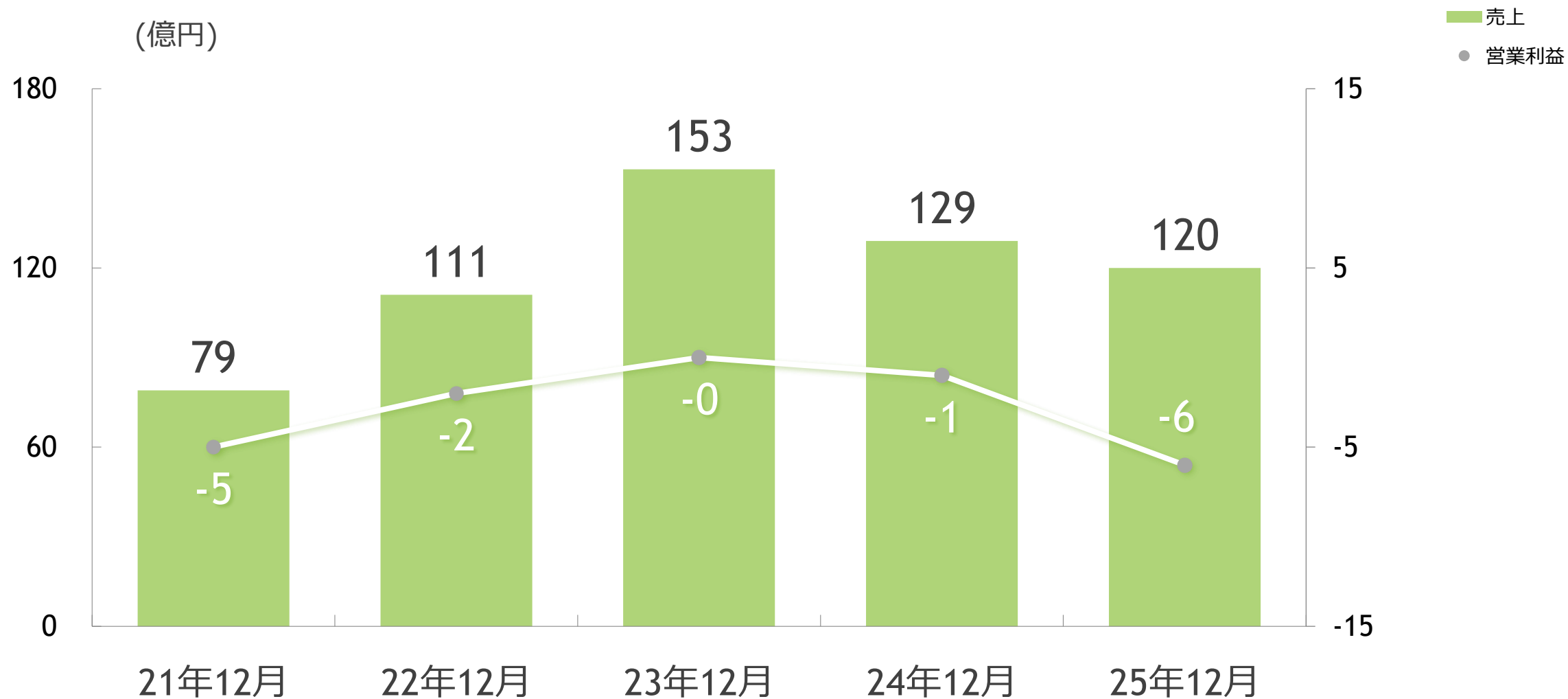
売上高と営業利益（報告セグメント別）-セグメントⅡ-

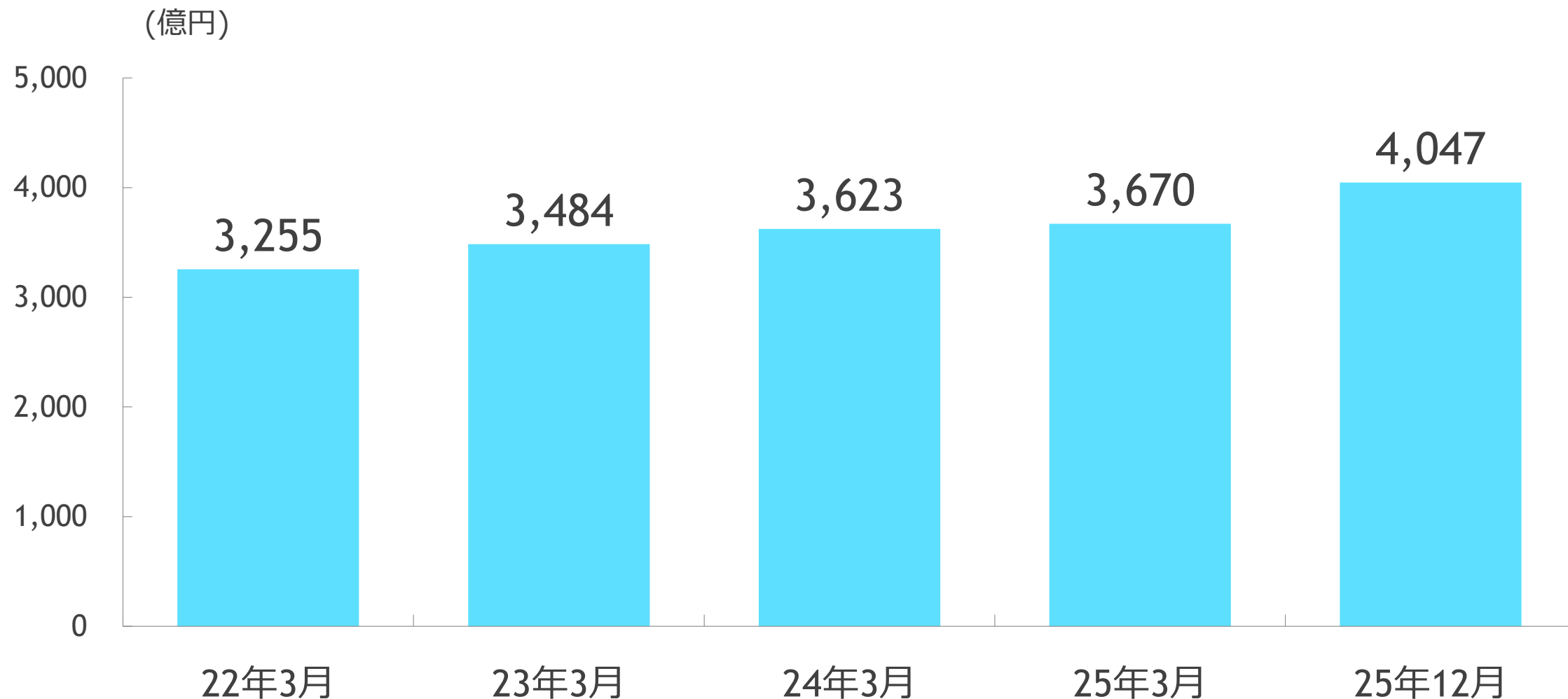


売上高と営業利益（報告セグメント別）-セグメントⅢ-

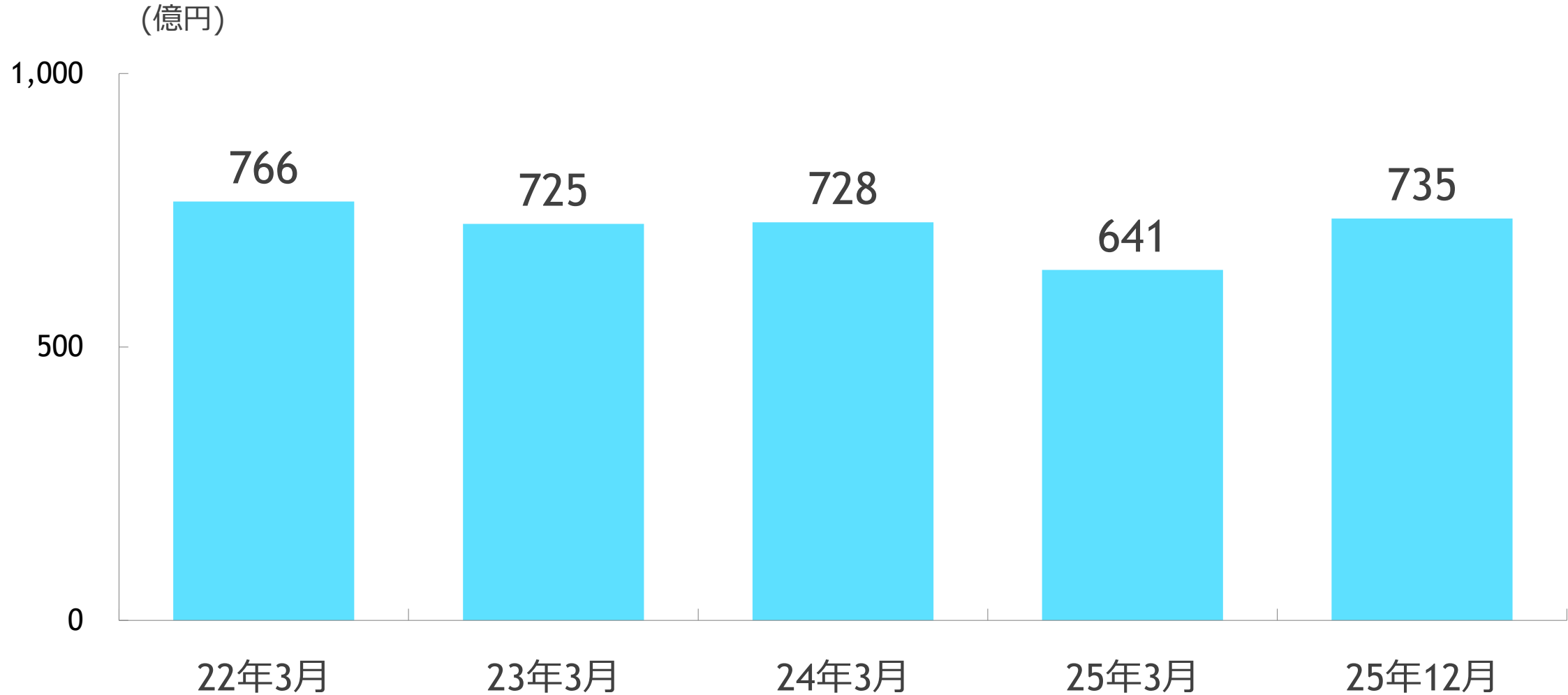


売上高と営業利益（報告セグメント別）-セグメントⅣ-

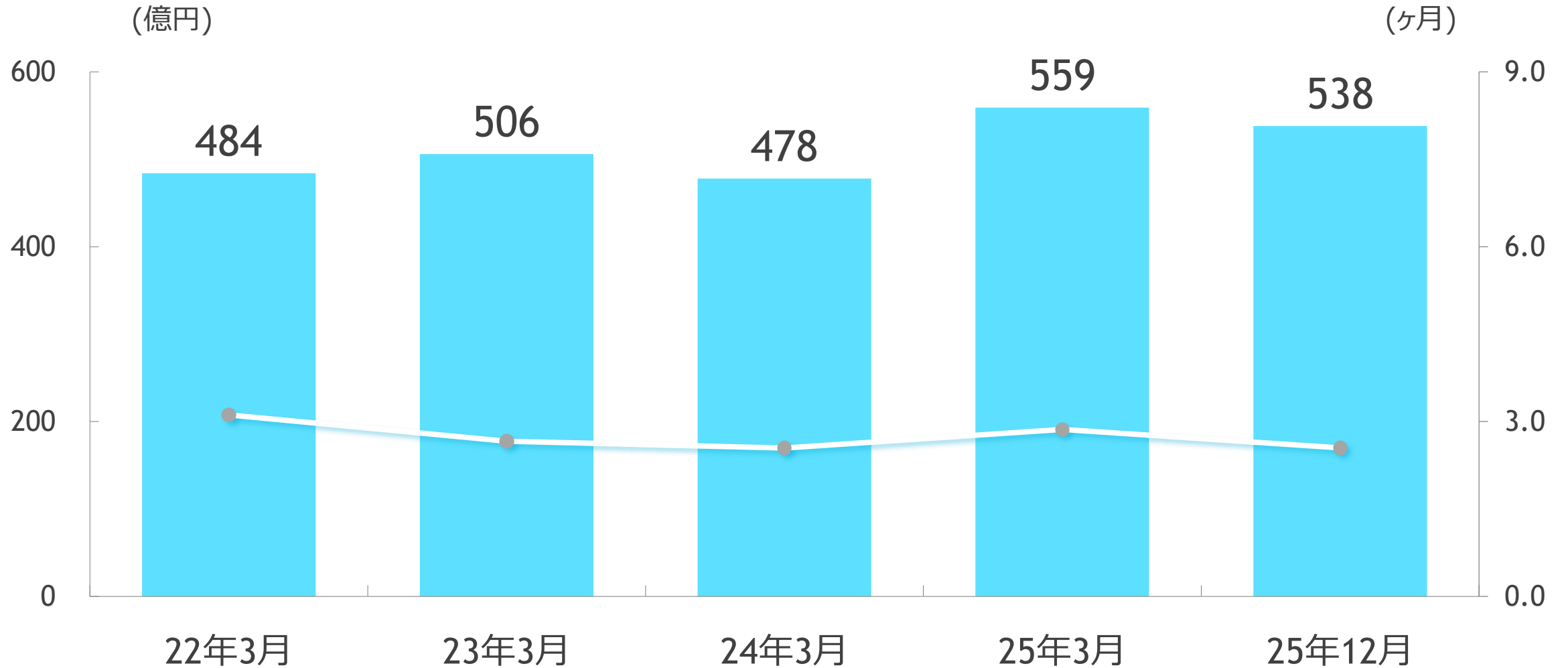




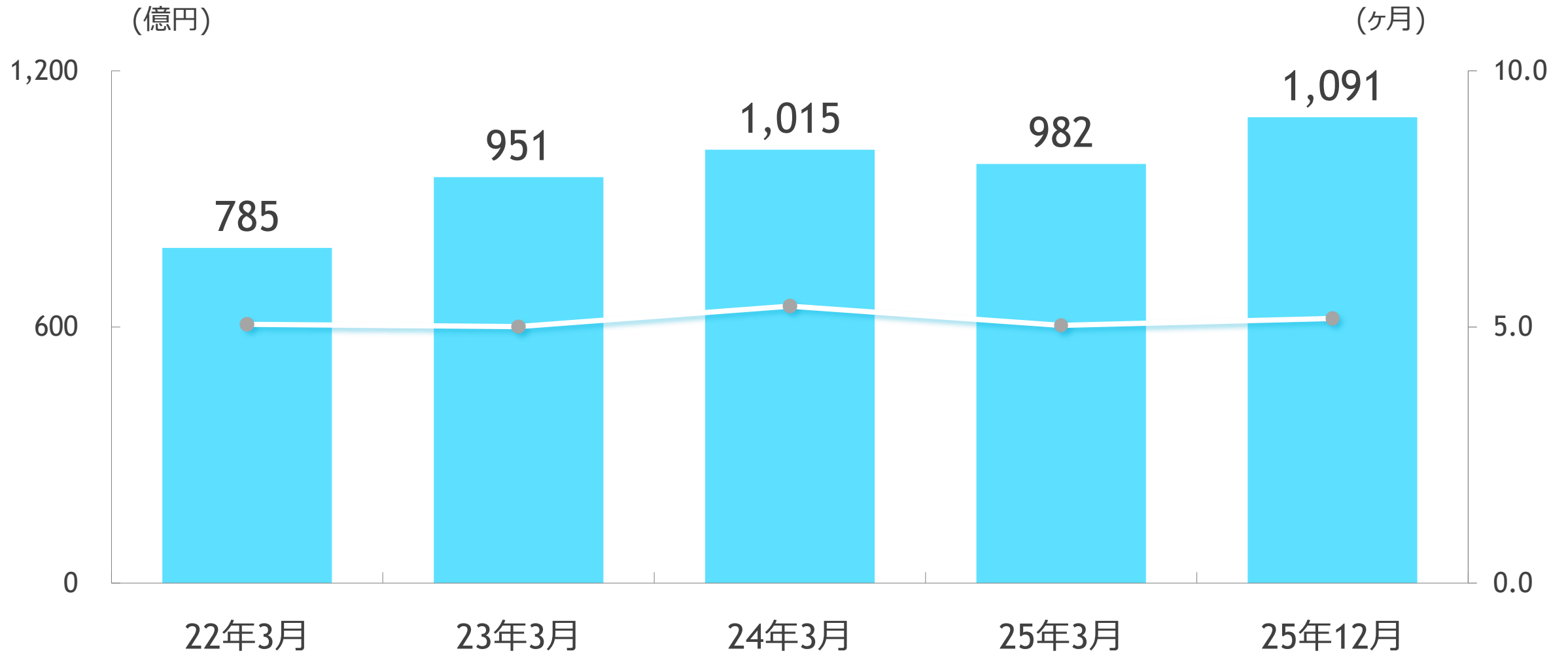
連結貸借対照表主要項目推移（現預金＋有価証券）

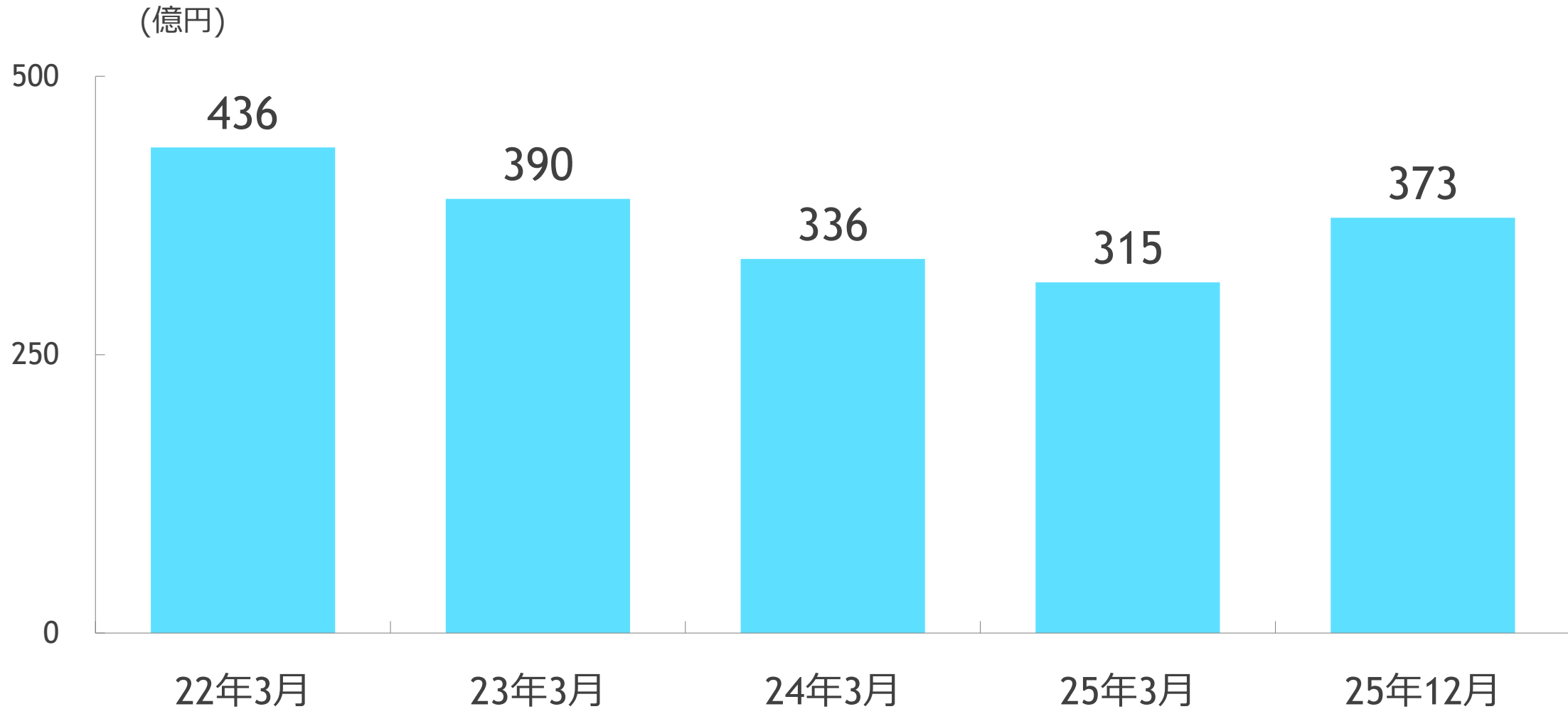


連結貸借対照表主要項目推移（売上債権及び回転月数）

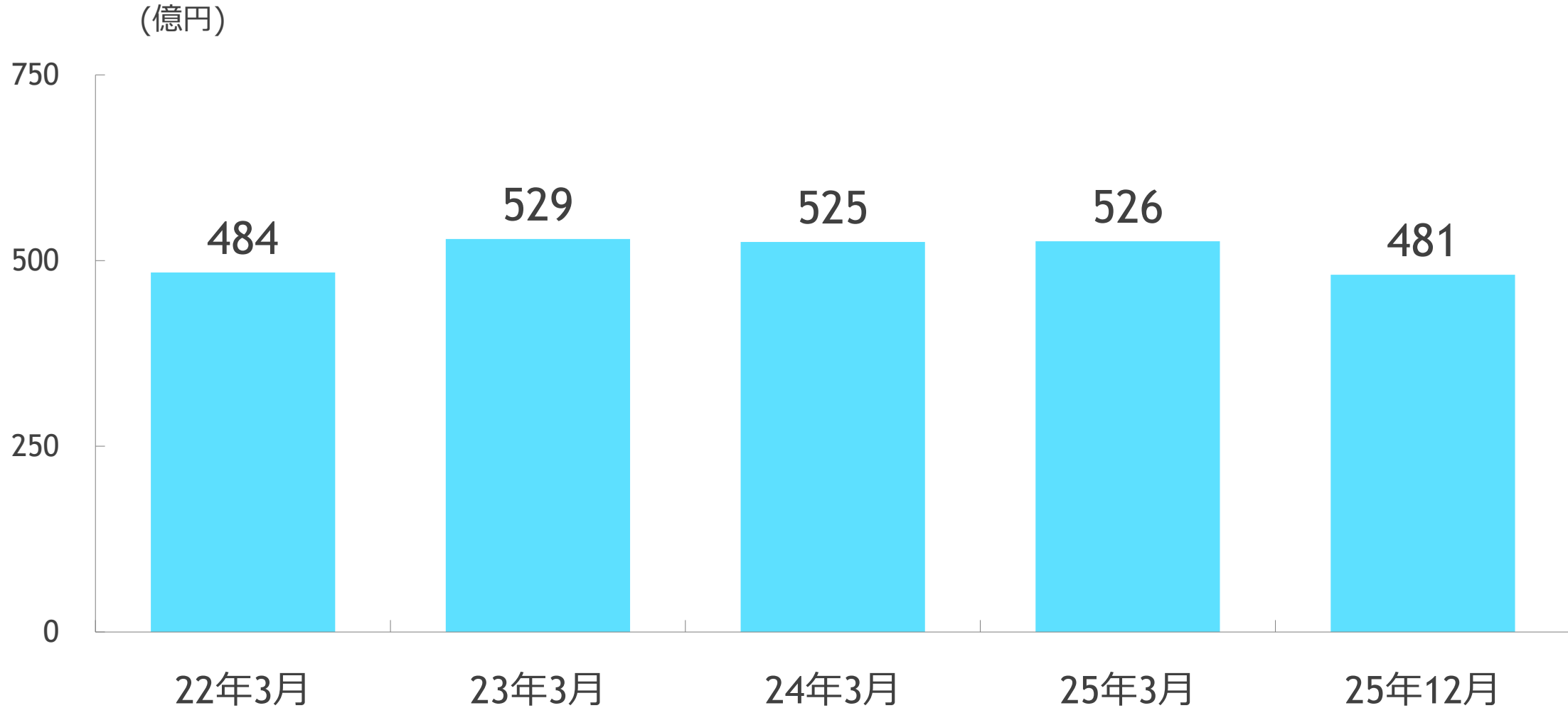


連結貸借対照表主要項目推移（棚卸資産及び回転月数）





連結貸借対照表主要項目推移（有利子負債）





本説明資料に記載いたしました将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績は、さまざまな要因により、記載された見通しと大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供するサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化等があります。なお業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。



Thank you